

**船舶気象報作成ソフトウェア
(OBSJMA for WIN Version 3.00)
取扱マニュアル**

**OBSJMA for WIN Version 3.00
OPERATION MANUAL**

**平成26年2月
February 2014**

**気象庁地球環境・海洋部
Global Environment and Marine Department
Japan Meteorological Agency**

船舶気象報作成ソフト OBSJMA for WIN Version 3.00 及び当マニュアルについての問い合わせ先、並びに船舶気象観測表送付用フロッピーディスク、CD-R 及び封筒の請求先は下記のとおりです。

+++++

Correspondence relating to OBSJMA for WIN Version 3.00 and requests for 3.5-inch floppy disks, CD-Rs and mailing materials should be sent to the following address:

気象庁 地球環境・海洋部海洋気象課
100 8122 東京都千代田区大手町 1-3-4

Marine Division
Global Environment and Marine Department
Japan Meteorological Agency (JMA)
1-3-4, Otemachi, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8122, Japan

Telephone: +81 - 3 - 3212 - 8341 (ext. 5144)

Facsimile: +81 - 3 - 3211 - 6908

E-mail : VOS@climar.kishou.go.jp

URL : <http://marine.kishou.go.jp/> (日本語)

<http://marine.kishou.go.jp/en/index-en.html> (English)

はじめに

海上気象観測は、日々の海上予報・警報など、船舶向けの気象情報の作成に不可欠であり、また、地球温暖化等、気候変動の監視・研究にも利用されています。このため、船舶の皆さまには、海上気象観測・通報へのご協力をお願いしています。

「船舶気象報作成ソフトウェア（OBSJMA for WIN）」は、海上気象観測・通報でも特に知識と経験を必要とする気象電報（船舶気象報）及び船舶気象観測表の作成を正確かつ容易にし、観測者への負担を軽減するために作成したものです。2014年に公開したVersion 3.00は、Windows 7/8へ新たに対応し、より汎用性を高めています。

本冊子は、このソフトウェアの取扱い方法を説明するものです。

目次

1 . OBSJMA の概要	1
2 . 動作環境	1
3 . インストール及び設定	2
3 - 1 ハードディスクにインストールして使用する場合.....	2
3 - 2 インストールせずに実行する場合.....	6
3 - 3 固定値データの入力・修正.....	7
3 - 4 目視項目の選択.....	8
3 - 5 表示言語の切り替え.....	8
3 - 6 終了.....	8
4 . 船舶気象報・船舶気象観測表の作成と提出	9
4 - 1 船舶気象報入力画面の構成.....	9
4 - 2 基本操作.....	11
4 - 3 観測データの保存.....	11
4 - 4 船舶気象報の送信.....	11
4 - 5 船舶気象観測表の送付.....	11
5 . オンラインマニュアルの見方	12
6 . その他	12
6 - 1 アンインストール.....	12
6 - 2 OBSJMA のバージョン情報.....	14

1 . OBSJMA の概要

OBSJMA for WIN (OBSJMA) とは、パソコン上で観測データ (船舶気象報及び船舶気象観測表) の作成を支援するソフトウェアです。

本ソフトウェアの特長は以下のとおりです。

- 1) 観測データの入力中に、必要な各種資料を別ウィンドウで表示させて、作成作業を容易に進めることができます。また、真風向・風速、海面気圧などを自動で計算しますので、作業が簡便になります。

表示できる各種資料： 雲の状態種類表、真風向・風速のベクトル計算、観測位置、船の進路・速度、風浪・うねりの入力支援図など

- 2) 観測データは、船舶気象報及び船舶気象観測表の形式で指定したフォルダに自動的に記録され、次の方法で簡便に提出できます。

- ・船舶気象報は、作成されたファイル (yymmddhh.tlx) をインマルサット送信機に読み込めばそのまますぐ送信できます。

- ・船舶気象観測表は、従来の紙媒体の船舶気象観測表に代えて、作成されたファイル (immt5.log) を、FD や CD-R に記録して入港地から郵送するか電子メールで送信して下さい (「4 - 5 船舶気象観測表の送付」参照)。

- 3) 電文形式のチェック機能により、手で電報文を入力する場合と比べて、形式ミスを大幅に減少できます。

2 . 動作環境

本ソフトウェアは、下記の動作環境を備えたパーソナルコンピュータで使用できます。

Microsoft® Windows® XP/Vista/7/8 日本語版

Microsoft® Windows® XP/Vista/7/8 英語版

CPU・メモリ・ディスク

CPU : Pentium® III 500MHz 以上

メモリ : 128MB 以上

ディスク : ハードディスクにインストールして使用する場合 50MB 以上の空き容量が必要です。

ディスプレイ

日本語版 OS : 解像度 800×600 ドット 65,536 色 以上

英語版 OS : 解像度 1,024×768 ドット 65,536 色 以上

Microsoft®と Windows®は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

Pentium®は Intel Corporation の登録商標です。

3 . インストール及び設定

OBSJMA for WIN Version 3.00 は、気象庁が配布する CD-ROM あるいは以下の気象庁のホームページ「船舶気象観測・通報のページ」からダウンロードして入手し、インストールしてください。

<http://marine.kishou.go.jp/index.html>

なお、ここでは日本語でのインストール・起動方法を紹介します。英語によるインストール・起動が行われる場合は、取扱マニュアルの英語版をご覧ください。

注意：旧バージョン（OBSJMA for WIN Version 1.00、1.01、2.00）を利用されている方は、OBSJMA for WIN Version 3.00 をインストールする前に、旧バージョンのアンインストールを行ってください。

本ソフトウェアを起動する方法として、以下の 2 通りがあります。

- ・インストールしてハードディスクから起動する。 (3 - 1へ)
- ・インストールせずに CD-ROM から実行する。 (3 - 2へ)

また、初めて起動した時には、メニューの「固定値データの入力・修正」(3 - 3)、「目視項目の選択」(3 - 4)を行って下さい。

3 - 1 ハードディスクにインストールして使用する場合

ハードディスクから起動する場合は、以下の手順によりソフトウェアのインストールを行って下さい。インストールには、管理者 (administrator) の権限が必要です。

- (1) CD-ROM ドライブに、配布された CD-ROM をセットするか、インターネットからダウンロードしたプログラム一式を任意のフォルダへコピーします。
- (2) Windows の「スタート」ボタンをクリックし「ファイル名を指定して実行」を選択します。
- (3) 「ファイル名を指定して実行」ダイアログボックスが表示されます。

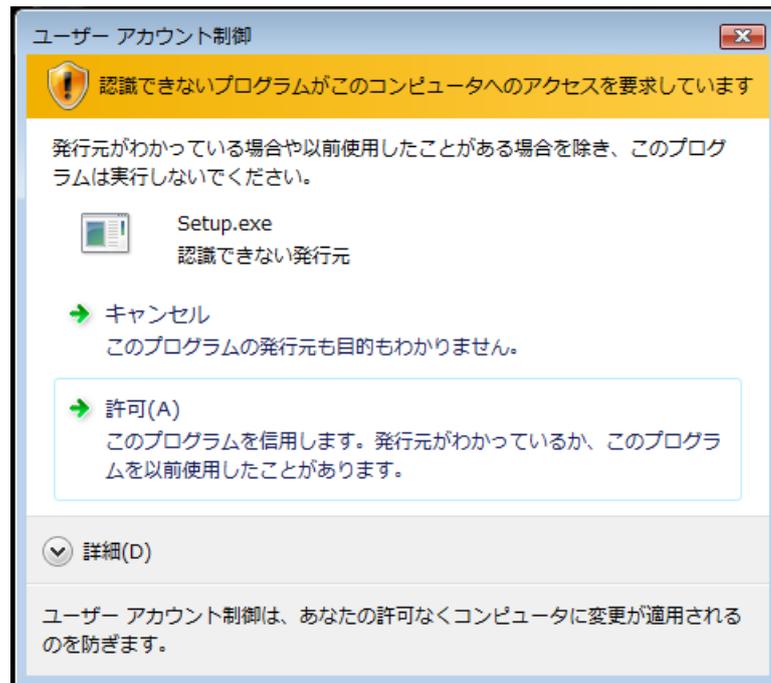
コマンドラインのテキストボックスに以下の例のように、「jpn」フォルダにある「setup.exe」を指定して<OK>ボタンをクリックします。

d:¥jpn¥setup.exe (CD-ROM のドライブ名が“d:”の場合)

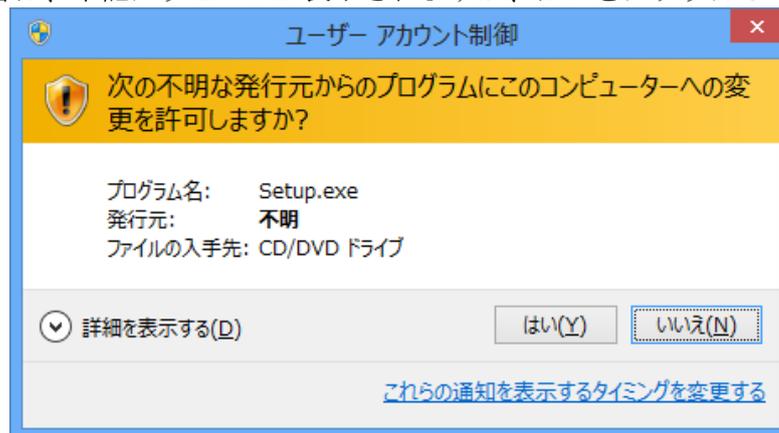


注)「ファイル名を指定して実行」がない場合は、「jpn」フォルダにある setup.exe をダブルクリックします。

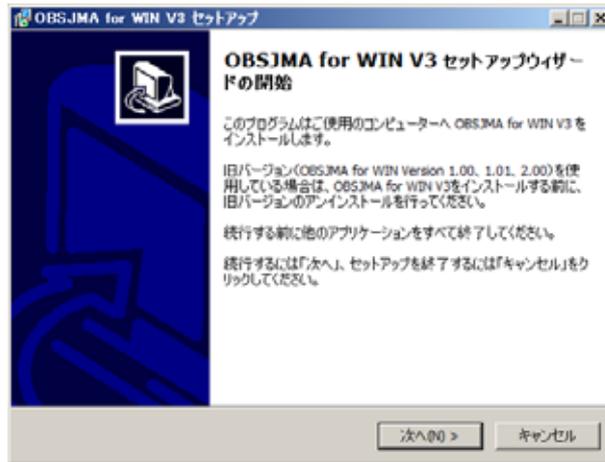
Windows Vista/7 の場合は、下記メッセージが表示されますが、許可をクリックして続行して下さい。



Windows 8 の場合は、下記メッセージが表示されますが、はいをクリックして続行して下さい。

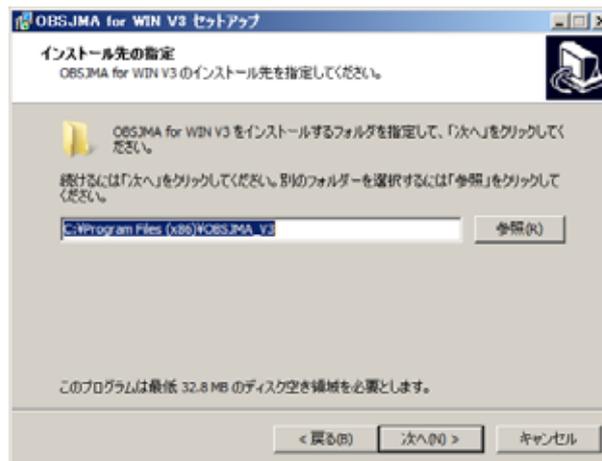


- (4) セットアッププログラムが起動すると、次のダイアログボックスが表示されます。

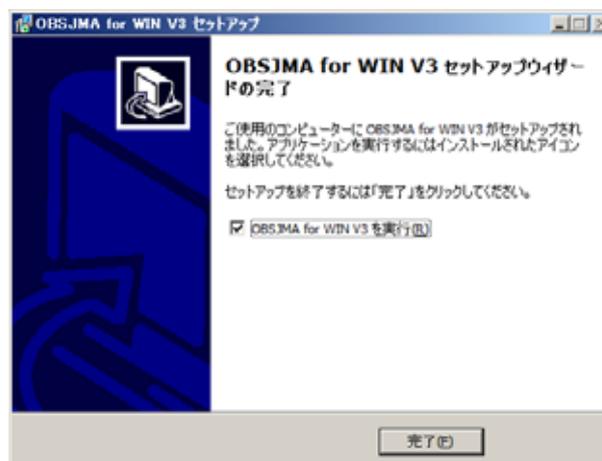


「次へ」をクリックします。

- (5) 本ソフトウェアをインストールするフォルダを指定して下さい。
- 標準では「Program Files」、フォルダを指定した場合はそのフォルダの下に新しいフォルダ「OBSJMA_V3」が作成され、インストールされます。特に指定したい場合を除いては、そのまま「次へ」をクリックして下さい。インストールが始まります。



- (6) インストールが終了すると、次のダイアログボックスが表示されます。



「完了」をクリックすると、Windows の画面に戻ります。

「OBSJMA for WIN V3 を実行」のチェックボックスがチェック状態になっていますので、そのまま「完了」をクリックするとインストールに続いて「船舶気象報保存フォルダ指定」

「船舶気象観測表保存フォルダ指定」「固定値データの入力・修正」（3-3）及び「目視項目の選択」（3-4）の設定を行います。設定後、「OBSJMA for WIN V3」が起動されます。

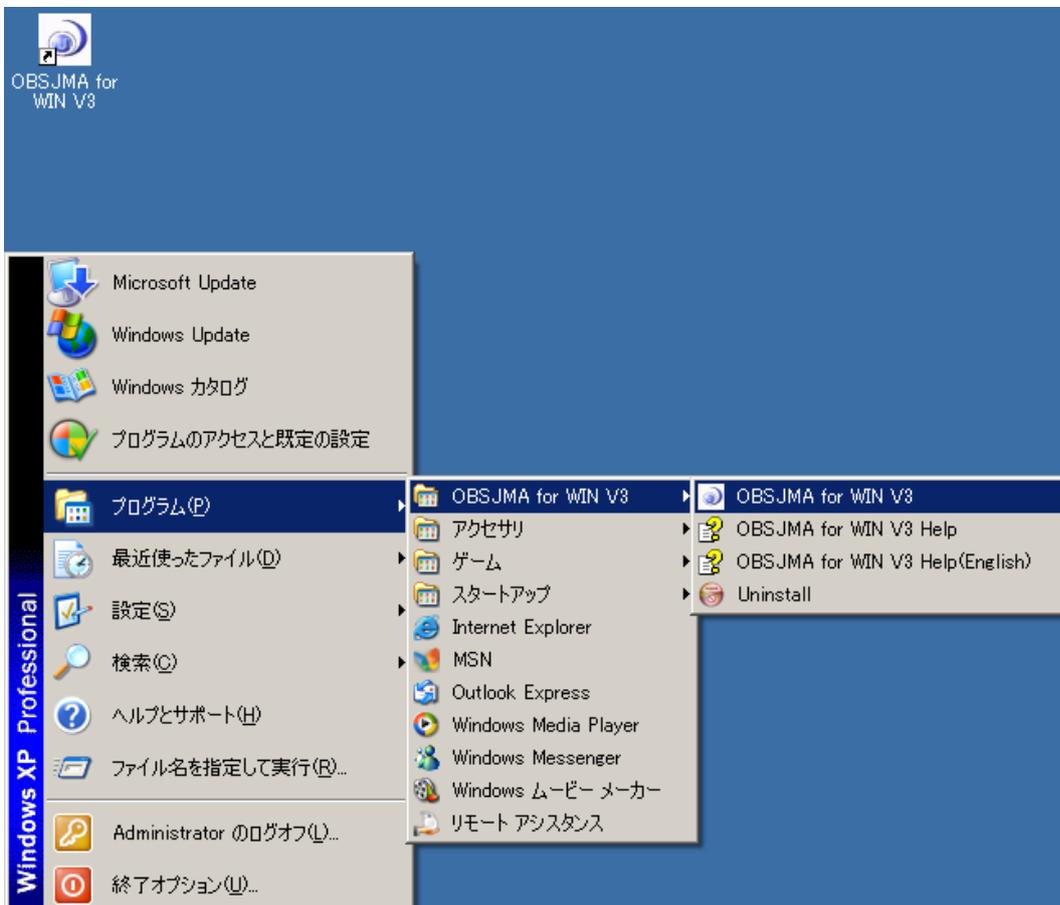
チェックボックスを未チェック状態にして<完了>をクリックした場合は、設定を行わず終了します。

- (7) インストールが終了すると、スタートメニューとデスクトップに起動アイコンが登録されます。

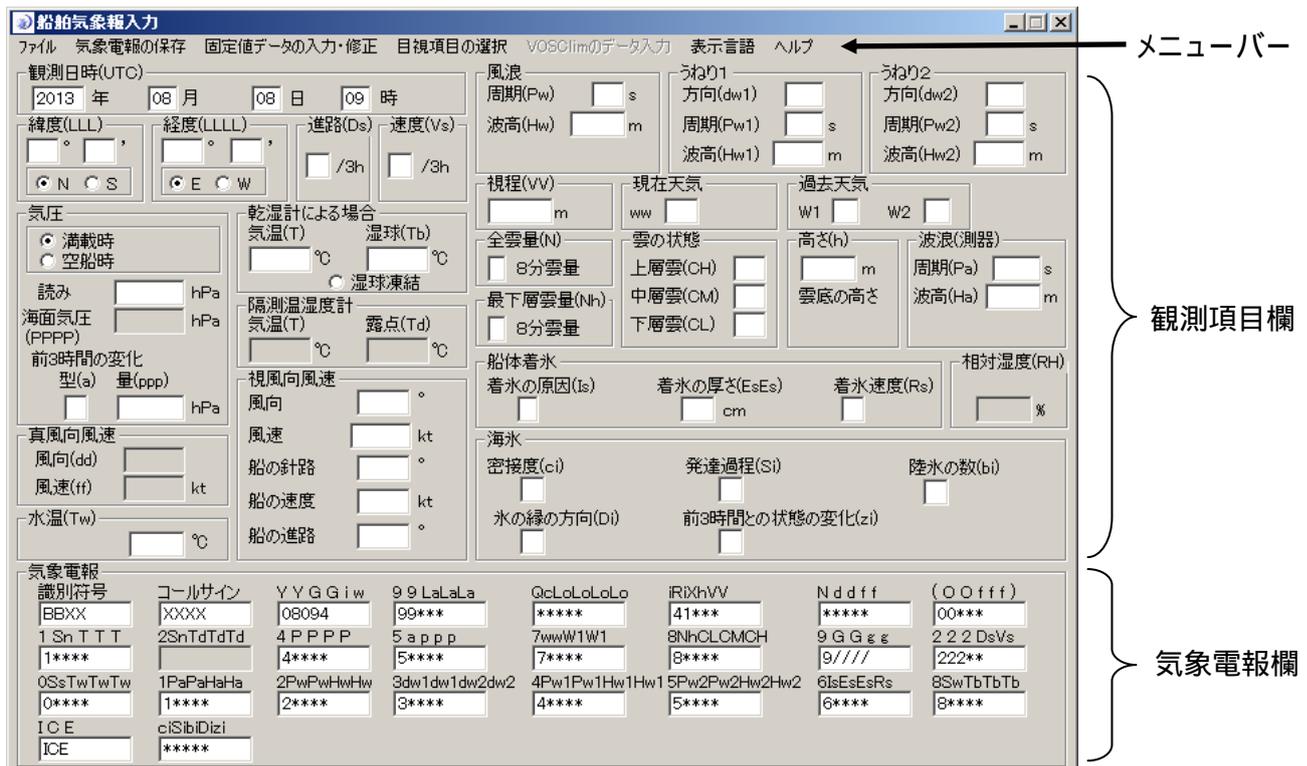
インストール後、ソフトウェアを起動するために、システムを再起動させる必要はありません。

起動するには、デスクトップの「OBSJMA for WIN V3」アイコンをダブルクリックします。

又は、「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」→「OBSJMA for WIN V3」→「OBSJMA for WIN V3」をクリックします。



起動すると船舶気象報入力画面が表示されます（構成の詳細は4-1）。



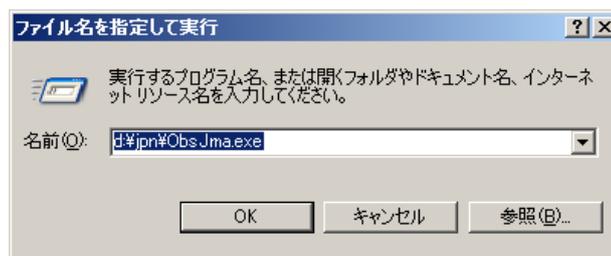
注) インストール時に「固定値データの入力・修正」(3 - 3) 及び「目視項目の選択」(3 - 4) を行わなかった場合は、初回起動時に必ず行ってください。

3 - 2 インストールせずに実行する場合

配布された CD-ROM から直接起動するときには、次のように操作します。

- (1) Windows の「スタート」ボタンをクリックし「ファイル名を指定して実行」を選択します。
- (2) 「ファイル名を指定して実行」ダイアログボックスが表示されます。名前(O)欄に以下の様にプログラムファイル名を入力して「OK」ボタンをクリックします。

d:¥jpn¥obsjma.exe (CD-ROM のドライブ名が “d:” の場合)



注) 「ファイル名を指定して実行」がない場合は、CD-ROM のドライブの中の「jpn」フォルダにある obsjma.exe をダブルクリックします。

- (3) 船舶気象報入力画面が表示されます。

3 - 3 固定値データの入力・修正

3 - 3及び3 - 4の操作により、船舶のコールサイン、気圧計の点検結果、観測方法などを設定ファイルに記録します。この操作は、本プログラムを最初に使う際に、プログラムを起動した状態でを行います。また、気圧計の点検結果や観測方法などが変更になったときにも行ってください。

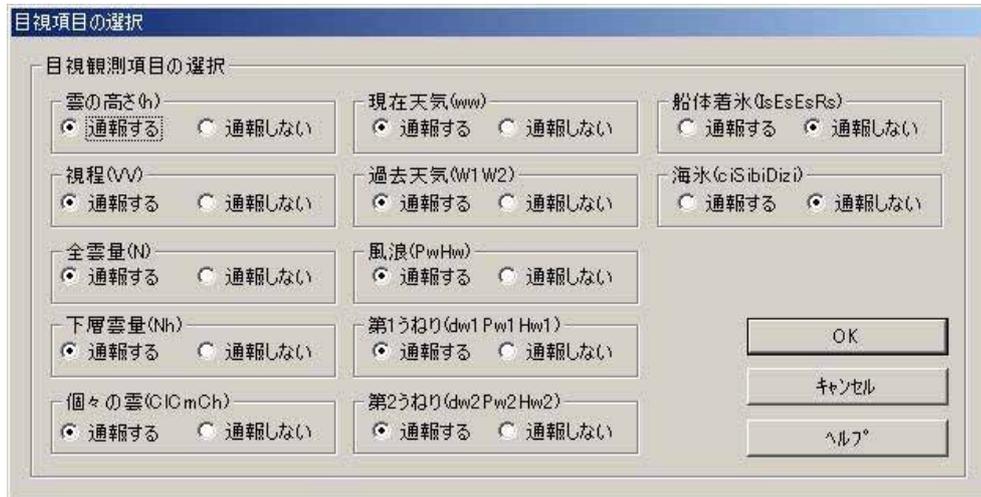
- (1) 船舶気象報入力画面のメニューバーの「固定値データの入力・修正」をクリックします。
- (2) 貴船のコールサイン、搭載されている測器、気圧計の点検結果を入力します。気圧計の点検結果を入力すると、船舶気象報入力画面に入力した気圧の読み取り値は自動的に海面気圧に補正されます。気圧計に貼付している港湾気象官による気圧計点検の結果を元に、必要な事項を入力してください。(気圧計の高さは小数点以下を四捨五入した整数値で入力してください。)
- (3) インストール時に指定した船舶気象報、船舶気象観測表保存フォルダを変更したい場合は変更します。
- (4) 入力後、「OK」をクリックして下さい。

固定値データ
の入力例

* VOSClim 船舶についての詳細は、「VOSClim の説明」ボタンをクリックすると表示されます。

3 - 4 目視項目の選択

- (1) 船舶気象報入力画面のメニューバーの「目視項目の選択」をクリックします。
- (2) それぞれの項目について、「通報する」、「通報しない」を選択します。「通報しない」を選択した場合、船舶気象報入力画面の観測項目欄の当該観測項目は入力不可となり、気象電報欄の当該項目には斜線（“/”）が表示されます。
- (3) 入力後、「OK」をクリックして下さい。



3 - 5 表示言語の切り替え

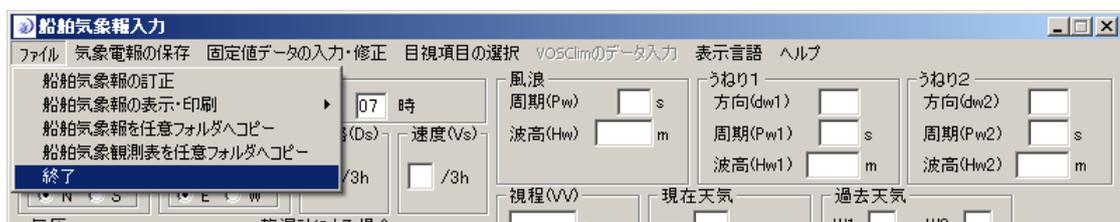
画面の表示は、日本語表示と英語表示が可能です。メニューバーの「表示言語」で切り替えます。

「表示言語」を切り替えると、次回起動時もその言語で表示されます。



3 - 6 終了

- (1) 船舶気象報入力画面のメニューバーの「ファイル」をクリックすると、プルダウンメニューが表示されます。



- (2) 「終了」を選択するとプログラムが終了します。

4 . 船舶気象報・船舶気象観測表の作成と提出

4 - 1 船舶気象報入力画面の構成

プログラムの起動時は次の船舶気象報入力画面が表示されます。

船舶気象報入力画面は次の3つの欄から構成されています。

メニューバー

メニュー名をクリックすると実行されます。

「ファイル」「表示言語」「ヘルプ」については、メニュー名をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。

観測項目欄

観測項目欄に数値を入力すると、自動的に気象電報が作成されます。

観測項目名(文字)をクリック又は、観測項目選択時に **F1** キーを押すと、該当する観測項目の補助入力画面が表示されます。補助入力画面では、その項目に関する図や解説等が参照できるため、気象電報の作成が容易に行えます。補助入力画面の例を次に示します。

補助入力画面の例
(観測位置)

うねり

うねりの観測

うねりが2つ以上ある うねりがない
 うねりが1つある うねりを観測しない

うねり1

方向(36方位) 周期(秒) 波高(m)

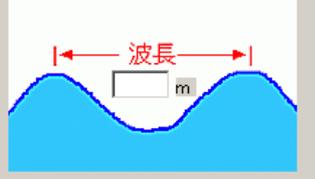
方向不明または方向を定めがたい
 周期不明または周期を定めがたい
 波高不明または波高を定めがたい

うねり2

方向(36方位) 周期(秒) 波高(m)

周期不明または周期を定めがたい
 波高不明または波高を定めがたい

波長からおおよその周期を求める



うねりの方向



OK キャンセル ヘルプ

補助入力画面の例

うねり(左)

雲の状態、上層雲
(CH)(下)

雲の状態(上層雲:巻雲、巻積雲および巻層雲)

			<input type="radio"/> CHなし <input type="radio"/> CH不明
<input type="radio"/> CH1 綿毛状、又はかき状の巻雲 が他の巻雲より多い。	<input type="radio"/> CH2 濃密な巻雲が他の巻雲より 多い。	<input type="radio"/> CH3 積乱雲からできた濃密な巻雲 がある。	
			
<input type="radio"/> CH4 空に広がりつつある巻雲。	<input type="radio"/> CH5 地平線45°以上には達してい ない巻層雲。	<input type="radio"/> CH6 地平線45°以上に広がって いる巻層雲。	
			
<input type="radio"/> CH7 全天をおおう巻層雲。	<input type="radio"/> CH8 空に広がらない巻層雲。	<input type="radio"/> CH9 巻積雲だけ、又は巻積雲が (巻雲+巻層雲)より多い。	

OK
キャンセル
ヘルプ

なお、「波浪(測器)」についての補助入力画面はありません。船舶気象報入力画面より直接入力してください。

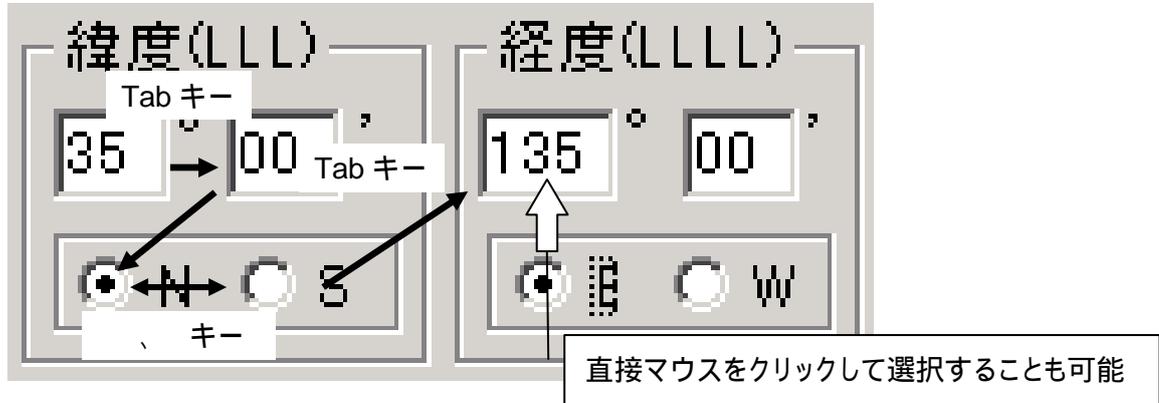
気象電報欄

観測項目欄で入力したデータが船舶気象報の電報形式で表示されます。なお、気象電報欄に直接入力することもできます。

4 - 2 基本操作

項目間移動は Tab キー又はマウスのクリックで行います。選択ボタンは “←、→” キー又はマウスのクリックで操作します。

特定の項目に移る場合はマウスで項目をクリックして下さい。その項目に移ると、入力データ値の色が反転します。



4 - 3 観測データの保存

全ての通報項目の入力が終了した後、メニューバーの「気象電報の保存」をクリックすると、船舶気象報の電報形式 (yymmddhh.tlx : yymmddhh は観測した年月日時を表します) に変換して指定したフォルダに保存されます。同時に、船舶気象観測表 (immt5.log) も作成し、指定したフォルダに保存されます。



4 - 4 船舶気象報の送信

観測データの保存後、メニューバーの「ファイル」をクリックし、「終了」を選択して船舶気象報入力システムを終了させて下さい。

作成された船舶気象報のファイル (yymmddhh.tlx) をインマルサット送信機に読み込んで送信します。

4 - 5 船舶気象観測表の送付

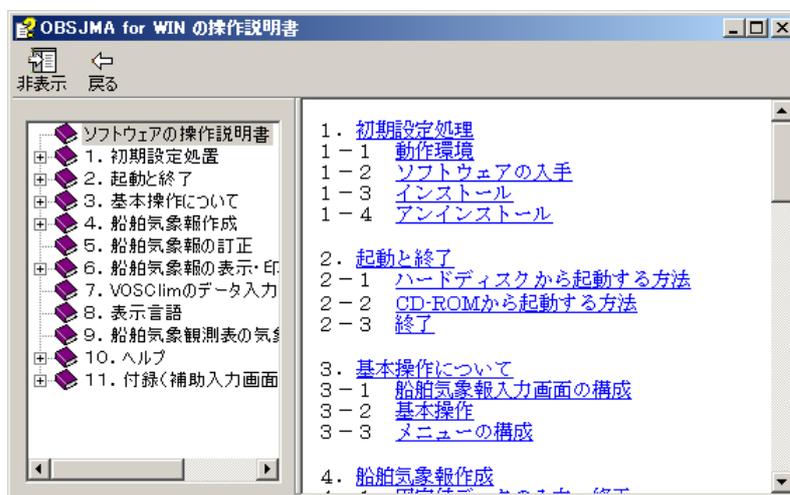
日本の港に帰 (寄) 港したときには、従来の船舶気象観測表に代えて船舶気象観測表と同じ形式で保存されたデータ (ファイル名 immt5.log) を、気象庁が配布するフロッピーディスク (FD) 又は CD-R に保存し、料金受取人 (気象庁) 払いの封筒に入れて郵送してください。この封筒は FD 又は CD-R と一緒にお送りしています。次航海分の「FD」、「CD-R」又は「送付用封筒」が残り僅かなときは、気象庁海洋気象課へ請求して下さい。請求先は本冊子の表紙の裏を参照して下さい。

なお、この船舶気象観測表と同じ形式で保存されたデータ (ファイル名 immt5.log) は電子メールでも受け付けています。データ送信用のメールアドレスは、obsjma@climar.kishou.go.jp です。電子メールで送付いただいた場合は、FD や CD-R の郵送は不要です。

5 . オンラインマニュアルの見方

インストール及び基本操作以外の使い方の詳細、各観測項目の簡単な説明については、オンラインマニュアルに記載されています。

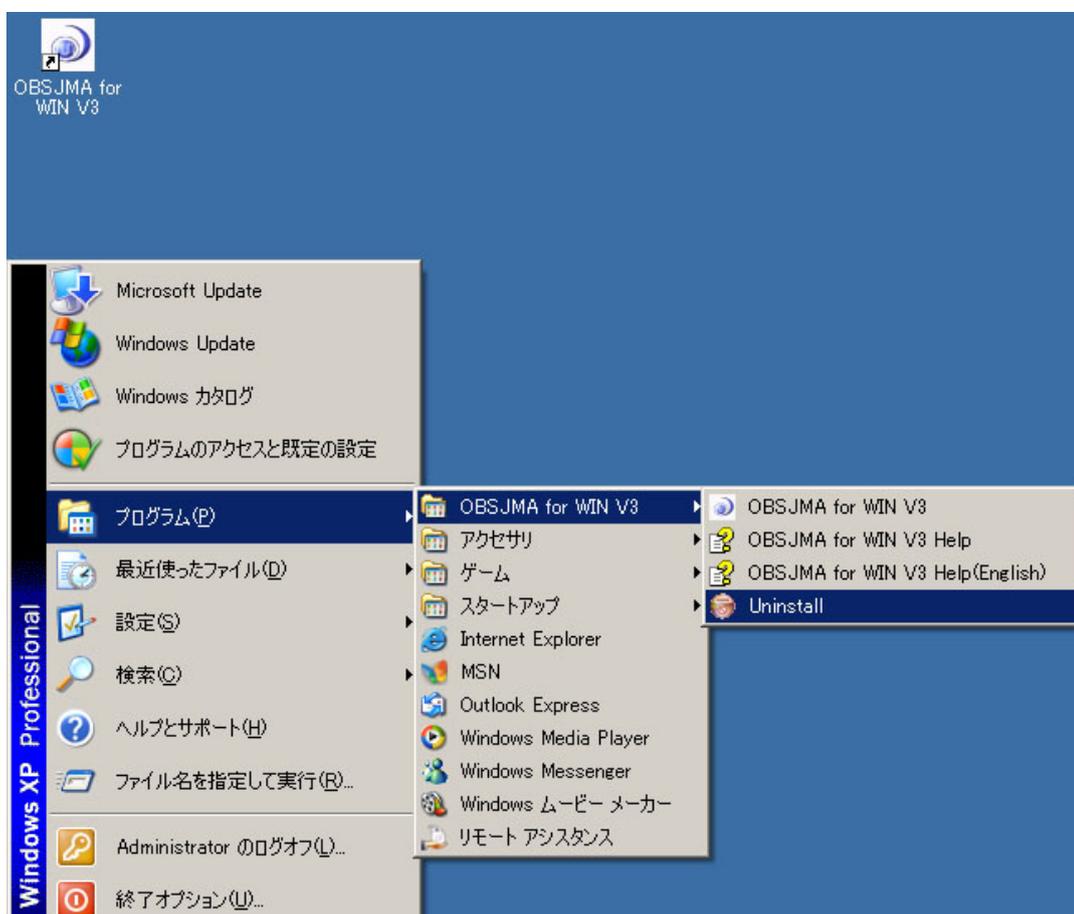
メニューバーの「ヘルプ」をクリックすることにより詳細なマニュアルが表示されます。



6 . その他

6 - 1 アンインストール

- (1) Windows XP/Vista/7 の場合、Windows の「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム (P)」 → 「OBSJMA for WIN V3」 → 「Uninstall」をクリックして下さい。



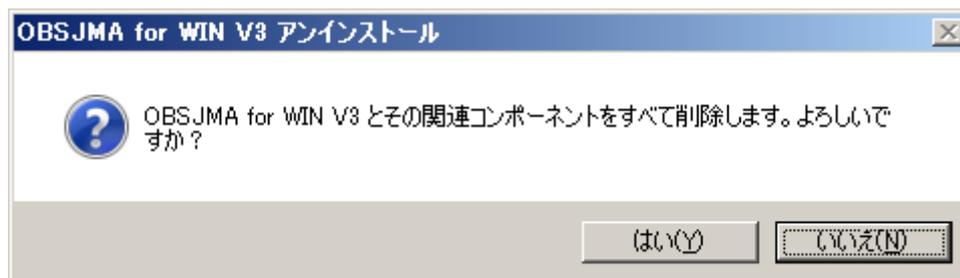
Windows 8 の場合、Windows キーを押してスタート画面を表示させます。OBSJMA for WIN V3 を右クリックすると、画面下にメニューが表示されますので、アンインストールを選択します。



表示された画面にて OBSJMA for WIN V3 を選択し、アンインストールをクリックして下さい。



(2) 「OBSJMA for WIN V3 アンインストール」ダイアログボックスが表示されます。



表示されたメッセージに従って操作すると、アンインストールが終了します。

注) OBSJMA for WIN V3 の使用時に設定した船舶気象報保存フォルダ、船舶気象観測表保存フォルダ及び中に保存された観測データは、自動では削除されません。不要な場合は手動で削除してください。

6 - 2 OBSJMA のバージョン情報

- ・ 2002 年 3 月 船舶気象報作成ソフトウェア「OBSJMA for WIN」 Version 1.00
- ・ 2004 年 3 月 船舶気象報作成ソフトウェア「OBSJMA for WIN」 Version 1.01
- ・ 2009 年 3 月 船舶気象報作成ソフトウェア「OBSJMA for WIN」 Version 2.00
- ・ 2014 年 2 月 船舶気象報作成ソフトウェア「OBSJMA for WIN」 Version 3.00

船舶気象報作成ソフトウェア「OBSJMA for WIN」は、常に最新のバージョンをご利用ください。バージョン情報は、メニューバーの「ヘルプ」から参照できます。本ソフトウェアのご請求については、表紙の裏の連絡先にお問い合わせください。

